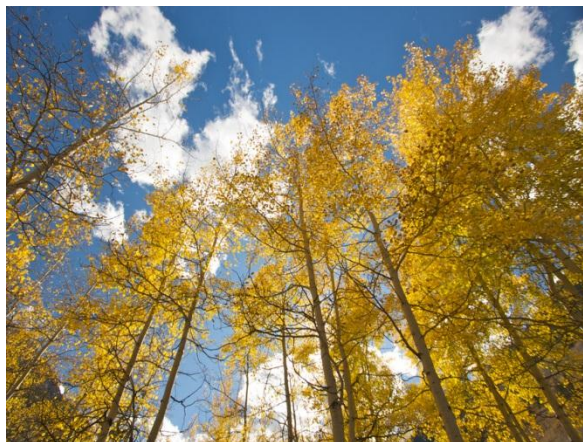


# 援助者のためのエキスパート養成講座 秋田ワークショップ



ナラティヴ・エクスプロージャー・セラピー  
(NET) や認知行動療法を学び、  
秋田の大自然からの恵みを得て、  
心身の健康を取り戻す研修会

今、注目を集めている「人生史を語るトラウマセラピー」、ナラティヴ・エクスプロージャー・セラピーの第一人者 森茂起先生を招き、援助者ができるトラウマケアの手法を学びます。

また、米山奈奈子先生による認知の偏りを修正する、認知行動療法の入門編やナラティヴ・ワークショップを体験します。

援助者のセルフケアは、大切な仕事です。自然の中に身を置き、こころやからだの声に耳を傾け、仲間と共に森の大自然のなかで静かに瞑想し、心と体が喜ぶ実感を味わってみましょう。

「森の妖精」リース作りや全国からの参加者と秋田の支援者の皆さんらとつながり、交流するワークショップもあります。

●日程：2014年9月20日(土) 13時～

9月22日(月) 12時まで 現地集合・現地解散

●会場：森林学習交流館 プラザクリプトン <http://www.plaza-crypton.jp/>

秋田市河辺戸島 秋田空港より和田方向へ右折約6Km。タクシーで7分。

●参加費：38,000円 (研修費・宿泊費込み、  
交通費は別途必要となります。)

●募集人員：20名

主催：一般社団法人 WERC <http://www.werc-women.org/>

協力：秋田のDV被害者支援団体

助成：東京ウィメンズプラザ アドバイザー派遣助成



お申込み、お問い合わせは

[advocatetokyo@gmail.com](mailto:advocatetokyo@gmail.com) 、 080-4599-9561までどうぞ



## ◆主なプログラム

### 9月20日(土)

- 12時 受付開始 チェックイン
- 13時 講義 **認知行動療法**
- 講師 米山奈奈子氏 1階A会議室
- 17時～夕食 食堂
- 18時半 **ボディ・ワークショップ**
- 21時半 終了

### 9月21日(日)

- 7時～ 朝食
- 9時 **森で五感を使ったワーク**
- 12時 昼食
- 13時 **講義とワーク**
- ナラティヴ・エクスポージャー・セラピー**
- 講師 森 茂起氏 A会議室
- 17時～ 夕食 食堂
- 18時半 **ナラティヴ・ワークショップを使った交流**
- 21時半 終了



### 9月22日(月)

- 7時～ 朝食
- 9時 森の散策
- 森の恵み森の妖精・リースづくり**
- 12時 解散

## ◆ナラティヴ・エクスポージャー・セラピー (NET) とは？

「人生史を語るトラウマ治療」とも言われ、トラウマ性のストレスと PTSD に有効な新しい短期療法です。長い間、多数のトラウマ的出来事を経験しながらも継続的な介入を受けることが困難な状況にあるサバイバーに効果が認められています。

NET では、トラウマ体験に焦点を当てながら、自分の人生史を詳しく語り、「自伝」を作成していく作業を行います。トラウマ体験に起因する不安、恐怖を処理しながら、混乱や欠落のある記憶を時間軸にそって整理、統合し、自伝的物語記憶を形成することを目指します。資源の整った治療現場だけでなく、「現場での使用」を目指して開発されているところに特徴があります。

日本では、病院や児童福祉施設で NET による治療が進められています。曝露(エクスポージャー)の要素を組み込んでいるので、実施するには、原理と技法をしっかりと理解しておくことが必要ですが、研修を受ければ、治療専門家だけでなくさまざまな援助者、支援者による実施が可能です。暴力被害からサバイバーとしての人権を回復することが目標に組み込まれており、DV や虐待、性暴力被害などの被害者支援に適した技法です。

## ◆米山奈奈子 (よねやま・ななこ)

秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授。保健師。アディクション問題を考える会 (AKK) 代表。千葉大学看護学部卒業後、東京都特別区保健所保健師を経て、東海大学健康科学部の教員として、看護研究及び教育に携わる。平成 16 年 4 月から秋田大学に着任。専門は、地域精神保健、精神看護学。

秋田では、さまざまな形で DV 予防および教育啓発活動に関わり、関係者支援にも取り組んでいる。また、地域における自殺予防活動にも積極的に関わっている。1995 年から市民団体 AKK の代表を務めている。東洋大学大学院社会学研究科修士課程福祉社会システム専攻修了、修士(社会学)。

主な著書は、アディクション看護 (医学書院、共著)、人間関係論 (医学書院、共著)、地域看護学 (医歯薬出版、共著)、薬物・アルコール依存症看護 (精神看護出版、共著) など。

## ◆森 茂起 (もり・しげゆき)

臨床心理士。専門は臨床心理学、トラウマ学。甲南大学文学部 人間科学科 教授。甲南大学人間科学研究所兼任研究員。日本に、ナラティヴ・エクスポージャー・セラピーの理論と技法を紹介し、病院や児童福祉施設等で NET を実践している。

著作は、『トラウマ映画の心理学—映画に見る心の傷』(新水社、2002年)、『トラウマの発見』(講談社、2005年)、『<戦争の子ども>を考える』(編著:平凡社、2012年)、『自伝的記憶と心理療法』(編著:平凡社、2013年)ほか

翻訳 は、『精神分析への最後の貢献—フェレンツィ後期著作集』(共訳:岩崎学術出版社、2008年)『ナラティヴ・エクスポージャー・セラピー』(共訳:金剛出版、2010年)『死別体験—研修と介入の最前線』(共訳:誠信書房、2014年)ほか。

